

## 被災支援委員会委員長 秋 山 徹

関東教区総会を終えて、新しい年度の歩みが始まりました。教区の被災支援委員会も昨年とほぼ同じ体制で、飯塚拓也統括主任を中心に、引き続き、教区内の被災教会・関連施設の再建・復興の支援に当たると共に、奥羽、東北の被災地支援の活動にもさらに継続的にかかわって行きます。

激しい揺れ、津波、福島原子力発電所の爆発と放射能汚染によって関東教区の30余の教会が大きな被害を受け、その対策と復興に教区をあげてこの2年間奔走してきました。もっとも大きな被害を受けた教会では、今年度いよいよ再建の工事が始まります。水戸中央教会は会堂・牧師館の新築計画95,087,000円のうち、教団からの支援額55,000,000円、借入額20,000,000円が決定しました。支援申請額の100%が認められ、教会としても重荷に打ちひしがれることなく、新しい会堂で礼拝できることを楽しみにしています。宇都宮教会は当初の計画では115,000,000円の新築計画で話し合いを進めていましたが、旧会堂地下室の取り壊しに際して隣家との擁壁工事や建築費の高騰などにより、計画の最後の詰めを急いでいます。まもなく教団からの支援額、借入額が決定します。これもほぼ満額の支援・貸し出しが認められる見込みです。伊勢崎教会は地震当時の福士卓司牧師が病気のため辞任され、しばらく無牧時代を近隣の教会によって支えられてきましたが、4月より遠藤尚幸伝道師を迎えて、いよいよ新会堂建築に向かって前進します。72,020,000円の予算で、その半額程度の支援申請、約24,000,000円の借り入れ申請となる見込みです。これらの3教会が関東教区ではもっとも大きな支援を必要とするところで、後は下館教会、宇都宮上町教会が具体的な再建計画が出来次第支援申請の運びになる予定です。すでに工事が完了した教会、鹿島教会のように被害を受けながら自力で会堂建築、復興を成し遂げた教会が他にもあります。この災害によって多くの痛手を受けましたが、これを上からの試みの時としてそれぞれの教会が主の教会と宣教のために心を一つにして祈り、新たなる時に向かって力を合わせる事ができたこと、また、教団全体が関東教区の被災教会に熱い思いを寄せ、連帯の働きを実りあるものにできたことは、まさに主の教会が生きて働いていることを実感させられます。

また、施設全体に壊滅的な被害を受けたアジア学院は、教団だけでなく世界に広がる大きな支援によってコイノニア棟が完成しましたが、さらにチャペルの建築には、台湾長老教会総会議長プシン・タリー（布興大立）牧師（玉山神学校学長）のお申し出によって完成できる見通しが与えられました。世界の教会が日本のこの災害のことを憶えて熱い援助の手を差し伸べてくださっています。

今後残された課題は、何よりも教団の10億円の募金計画を継続し、達成すること、幼稚園や保育園など付帯施設の耐震工事や放射能除染や、後から出てきた被害の補修や会堂建築計画と取り組む教会の支援と、東北・奥羽の被災地へのボランティア派遣をさらに活発にすること、被災地をめぐる旅を計画すること、原子力発電や核エネルギーの使用をめぐる国際会議を開催することなどに力を注ぐこととなります。

今年はいよいよ再建された姿を目にすることができる年ですが、日本全体では未だ仮設住宅に住む人々が30万人に及ぶこと、放射能汚染の広がりや収束には程遠い福島第一原発の惨状、これらを通して知らされる一人の小さなものの叫び、経済優先、技術過信、環境破壊、これらの根底に潜む人間の罪を鋭く認識し、わたしたちの生き方そのものを再考し、教会の宣教の体制を整え、声を上げることに怠ってはならないと思います。

## 第 63 期第 1 回「東日本大震災」被災支援委員会報告

小池 正造（支援委員）

6 月 18 日午後 6 時より、大宮教会を会場に、第 63 期最初の委員会が行われました。初めに組織が確認され、基本的には、前期からの継続となりました。委員長：秋山徹議長、統括主任：飯塚拓也宣教部委員長、書記：加藤久幸、ニュース担当：小池正造、ボランティア担当：小林祥人茨城地区長、会計：金刺裕美主事、委員：熊江秀一副議長、栗原清書記、疋田國磨呂、平山正道、新井純、澤田武、手束信吾新潟地区長、生地善人群馬地区長、土橋誠埼玉地区委員長（15 名）。

秋山委員長より、4 月 26 日に仙台エマオを表敬訪問したことが報告されました。仙台エマオからは、関東教区からのボランティア派遣に感謝を表しているとのことでした。

金刺主事から会計報告がなされました。4 月から 6 月までに、他教区の諸教会より 11 万円の献金を頂きました。覚えられていることに感謝いたします。教団教育委員会より、クリスマス献金が送られてきました。協議をして、昨年同様に、教区内の被災をした教会関係乳幼児施設に均等に分配することにいたしました。全国の各教会・伝道所より、被災教会のことだけでなく、被災した教会関係乳幼児施設のことをも覚えてくださることは、感謝です。

宇都宮教会からの教会堂・牧師館債権・復興工事支援申請が、追加工事、資材の高騰などの事情で、697 万円の追加になりました。追加後の 6,447 万円を、申請額として承認いたしました。なお、鹿島教会、水海道教会は、自己資金で再建を目指しております。どうぞ、2 教会のためにもお祈りください。

教区から派遣するボランティアへの交通費補助について話し合いました。JR を使用する場合は乗車運賃分を、高速バスを利用する場合は実費額を、自家用車を利用する場合は、3 名以上の乗車で高速代を含めた額を、3 名未満の場合は、高速代を除くキロ計算額を支援することになりました。

なお、今後のボランティア派遣については、7 月 9 日から 12 日に募集いたします。8 月は多くのボランティアが参加することが見込まれますので、教区としては募集をいたしません。ただし、食事ボランティアについては、常時募集をしております。ご協力をお願いいたします。ボランティア先については、石巻エマオもあります。

第 2 回「被災地・被災教会で祈りをあわせる旅」は、埼玉出発で 10 月頃を日程に調整中です。費用は 3 万円前後を見込んでおります。詳細が決まりしだいご報告いたします。

### 日本基督教団東日本大震災救援募金

※現在の募金状況(2013 年 6 月 17 日現在)

¥565,475,951 「東日本大震災救援募金」

¥251,358,519

「東日本大震災海外献金プロジェクト」

### 7 月のボランティア募集

7 月 9 日（火）～12 日（金）

8 月は直接仙台エマオにお問い合わせください

問合せ 小林祥人（090 - 3529 - 5140）

7 月 15 日から 9 月 14 日までの内、8 月 8, 9, 15-17 日およびすべての日曜日を除いて、調理ボランティアを募集いたします。1 チーム 3 名以上でお願いいたします。